

まちの話題



大塚製薬株式会社と連携協定を締結

1月22日、大塚製薬株式会社と市は、スポーツ振興による健康増進や防災などの取り組みに関する連携協定を締結しました。

同社は、健康で安心して暮らせるまちづくりに貢献するため、自治体との連携を進めており、今回の締結は県内9番目となります。

本協定により、スポーツイベントなどでの支援や、市民・企業への健康に関する情報提供、災害時の優先的な物資供給などを行っていくこととしています。

大塚製薬株式会社の迫上仙台支店長は「ノウハウを活かし、市民の皆さまの健康増進に貢献できるよう努めていきたい」と話しました。



地域のものを地域で消費 産業活力塾

1月24日に産業活力塾の市民公開講座が、文化の杜交流館コモッセで開催されました。

産業活力塾は、地域の若手経営者や経営幹部候補者、起業を目指す方などを対象に市が行っている講座で、年5回開催されています。

4回目となる今回は、公開講座として、日本総合研究所の主席研究員である藻谷浩介氏が、オンラインで講演しました。

藻谷氏は、「地域と地域企業が今後も続いていくためには、地産地消が重要であり、地域内経済循環の拡大により、地域が活性化する」とアドバイスしました。

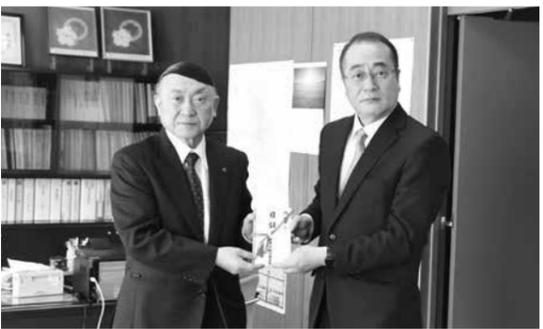


かづの飲食店組合連合会が寄附

1月26日にかづの飲食店組合連合会の田中会長が児玉市長を訪れ、市に2万円を寄附しました。

かづの飲食店組合連合会では、毎年市に対して寄附を行っており、田中会長は「子どもたちには、本に親しみ見聞を広げ、地域に貢献してほしい」と話し、目録を贈呈しました。

寄附を受け児玉市長は「図書館サービスの充実のため、有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



地域に感謝 十和田地区豆まきパレード

2月7日、十和田地区で毎年行われている十和田地区後厄祓実行委員会による豆まきパレードが行われました。

これは、後厄の男性と女性が、地域への恩返しとして行っているもので、参加者は各家々を巡って「天に花咲け、地に実りあれ」「鬼は外、福は内」と言いながら、鬼役の男性に豆を投げっていました。



十和田オーデオ株式会社 オゾン発生器「オゾバリア」を寄贈

2月9日、十和田オーデオ株式会社佐藤社長が、阿部副市長を訪れ、自社製作のオゾン発生器「オゾバリア」10台を市に寄贈しました。

オゾバリアは、生成するオゾンで新型コロナウイルスを不活性化させる効果があることが確認されています。

寄贈を受け阿部副市長は「確定申告の会場など、人が集まる場所や窓口での活用を検討していきます」と感謝の言葉を述べました。



明治安田生命保険相互会社が寄附

2月9日、明治安田生命保険相互会社の佐久間所長が、阿部副市長を訪れ、市に15万円を寄附しました。

これは、明治安田生命保険相互会社が行う「地元の元気づけプロジェクト」の一環として、全国748自治体に対し行っているもので、総額約2億円に上ります。

寄附を受け阿部副市長は「新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるため、コロナ関連などに有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



親子で楽しむ冬のぽかぽか運動会

2月5日、文化の杜交流館コモッセで、冬のぽかぽか運動会と題したイベントが行われ、多くの親子連れが参加しました。

このイベントは、子ども未来センターが企画行ったもので、親子で体を動かすメニューが用意されました。

障害物競争では、段ボールで作られた道を抜けたり、トンネルをくぐったりしてゴールを目指しました。子どもたちは、保護者に手を引かれ、満面の笑みでイベントを楽しんでいました。



百歳長寿を祝う 兎澤ツエさん 前田ハキさん

兎澤ツエさん（大正10年・花輪生まれ）が2月7日に、前田ハキさん（大正10年・花輪生まれ）が2月10日に、それぞれ満100歳の誕生日を迎えたことから、市では、顕彰状と祝い金を贈り、長寿を祝いました。

兎澤さんは、若い頃から朗らかで怒ることが無かったそうです。長生きの秘訣は「なんでも好き嫌いなく食べる」と話していました。

前田さんは、施設内で他の利用者を常に気にかけており、とても優しい性格だそうです。長生きの秘訣は「なんでも食べて、ゆったりとした時間を過ごすこと」と話していました。



前田ハキさんに顕彰状と祝い金を贈呈